



「偽・誤情報」から不安を解消する
ファクトチェック

中東情勢に伴う 原油・物資供給対策

Q & A



政府は、ガソリン高騰対策や原油の代替調達拡大、流通の目詰まり解消を先手で実行中です。常に、万全の備えと対策を講じ、皆様の暮らしと日本経済を守ります。

エネルギー・燃料価格対策

Q1 ガソリン価格高騰への不安があります。政府の対策は？

A1 全国平均170円台を維持するよう、強力な抑制策を講じています。

政府は、ガソリン価格の急激な値上がりを抑える「激変緩和措置」を3月19日から即座に実施しました。これにより、レギュラーガソリンの価格を全国平均で170円程度に抑制しています。物流を支える「軽油」や工場のボイラーなどで使われる「重油」、「灯油」などについても、同様の補助を講じています。今後も中東情勢を注視し、令和8年度予備費の活用を含め、国民生活を守るために躊躇なく追加の手を打ってまいります。

Q2 石油は本当に足りている？ 備蓄の放出や代替原油の調達状況を教えて。

A2 国家備蓄の放出により、十分な供給を確保。代替調達も順調です。

日本には200日分以上の石油備蓄があります。すでに45日分の放出を開始していますが、さらに供給不足を未然に防ぐため、5月上旬からは国家備蓄を20日分追加で放出します。政府は現在、ホルムズ海峡を経由しないルートでの代替調達に全力を挙げています。その結果、すでに年を越えて供給できる見通しが立っています。5月には米国からの調達を前年の約4倍に増やすなど、中東以外からの確保も着実に進んでいます。

Q3 今後、政府が節電、節約要請を出すことはありますか？

A3 国民生活や経済に大きな影響が出ないよう、需要面の対策を含めあらゆる政策を検討し、万全を期します。

現時点で、経済活動にブレーキを掛けるような形で、節約をお願いせざるを得ない状況には至っていないとは考えておりません。今後も、国民生活や経済活動を停滞させない形で、需要面の対策を含めあらゆる政策を検討します。

〈最新情報はここから〉

政府情報提供・相談特設窓口

石油及び関連製品
中小企業支援



医療関連



農林水産
関連



物流・交通・
建設関連



産業廃棄物
関連



供給制限・流通の現状

Q4 政府がガソリンの購入制限を
考えているって
ホント？

A4 現時点で、ガソリンの購入制限を行う状況にはありません。

備蓄の活用や代替調達を進めることで、日本全体として必要な原油の供給量は確保されており、それらを国内の製油所で精製することにより、ガソリンや軽油、重油などの燃料の供給に支障は生じていません。また、国は、一部の製品や地域で生じている流通の偏りにも丁寧に対応しています。
今後も、国民生活や経済活動を停滞させない形で、需要面の対策を含めあらゆる政策を検討し、安定供給の確保に万全を期します。

Q5 地域によって燃料が
届かないという
ニュースを見ましたが、
大丈夫？

A5 全体の量は確保されています。
局所的な配送の「目詰まり」も、政府が介入して解消しています。

担当大臣のもとにタスクフォースを設置し、毎日状況を把握しています。一部の地域で見られる配送の偏り（目詰まり）に対しては、政府が元売業者へ直接要請を行い、バス、病院、農業・漁業などの重要施設へ優先的に供給される体制を整えました。これら重要施設について、もし、いつもの販売店で燃料が確保できない場合でも、大手元売業者から直接購入できるルートを確認しています。
また、重要施設以外の需要家の方については、政府から元売業者や大手卸売事業者に対し、継続的な取引がある場合には、前年同月比同量の販売を要請しています。お困りの際は、経済産業省・厚生労働省ほか関係省庁の専用窓口へご相談ください。

医療・生活物資の確保

Q6 透析資材や医療用手袋
など、医療用品の
供給が止まる心配は
ありませんか？

A6 医療機関への供給を最優先に、万全の体制を敷いています。

「透析資材」の供給不足は、すでに対応を完了し、解消しています。また、「医療用手袋」についても、国が備蓄しているものを5月から5千万枚放出します。厚生労働大臣と経済産業大臣による対策本部のもと、全国の医療機関・製造施設・卸を対象に、物資の供給状況を網羅的に把握しています。医療用品の提供が不足し、必要な医療が止まることのないよう、一点の隙もない対応を継続します。

Q7 ナフサ不足で、
ゴミ袋や食品トレー、
洗剤などの日用品が
なくなる？

A7 少なくとも4か月分以上の在庫を確保しており、
品切れになることはありません。

プラスチック製品の原料となる「ナフサ」については、米国等からの代替調達が進んでおり、少なくとも化学品全体の国内需要の4か月分を確保しています。さらに中東以外からのナフサ輸入量の増加により、中間製品の在庫使用期間を半年以上に延ばすことが可能です。食品包装、ゴミ袋、半導体関連など、暮らしに欠かせない重要物資が途切れないよう、品目ごとにきめ細かな供給対策を講じています。